



杉谷 洋一 議員

# いじめの防止は？

教育委員会

## 家庭での指導や見守り

【杉谷】町内の小・中学校で、いじめはあるのか。

【教育委員会】平成21年度4件、22年度4件、23年度1件、本年度は8月末で3件の報告を受けている。事例としては仲間外れや集団による無視などがあり、これらの事案は学校が適切に対応し解決している。

【杉谷】いじめの防止策は。

【教育委員会】子どもに対して、家庭での指導や見守りが必要である。

【杉谷】学校・保護者・地域との連携は。

【教育委員会】学校全体で小さな変化に気づく目を持ち、また、町の小学校では地域との連携で、読書・音読ボランティア、見守り隊など、多くの人が学校に出入りすることにより、いじめの未然防止となっている。

【杉谷】いじめマニュアルはあるのか。

【教育委員会】各学校で、これにもとづき取り組んでいる。



仲良く遊ぶ子どもたち

# 遊休施設で企業とまちづくりを！

町長

## まちづくり地区会議を優先



岩井 美保子 議員



使用方法が決まった旧高麗保育所

【岩井】町管理の空き施設で、地域活性化のまちづくりを企業と一緒にする場合の認可は。

【町長】利活用がない場合には、集落や企業などからの提案があれば検討する。

遊休施設は、利活用の提案が使用条件と合えば、許可できる。

所有する施設は、台帳の整備を進めている。方向性を検討し、計画的に修繕を行い、適正な維持管理に努める。利用が見込めない施設は、取り壊しの検討もしている。

# 大山の観光振興は？

町長

## 特色を生かしたい

【杉谷】大山を訪れる観光客の動向と推移は。

【町長】入り込み客数はほぼ横ばいで、滞在時間は減少傾向にある。

【杉谷】自然や歴史・文化遺産を活用し高齢者など、年代層を絞った観光の誘客施策は。

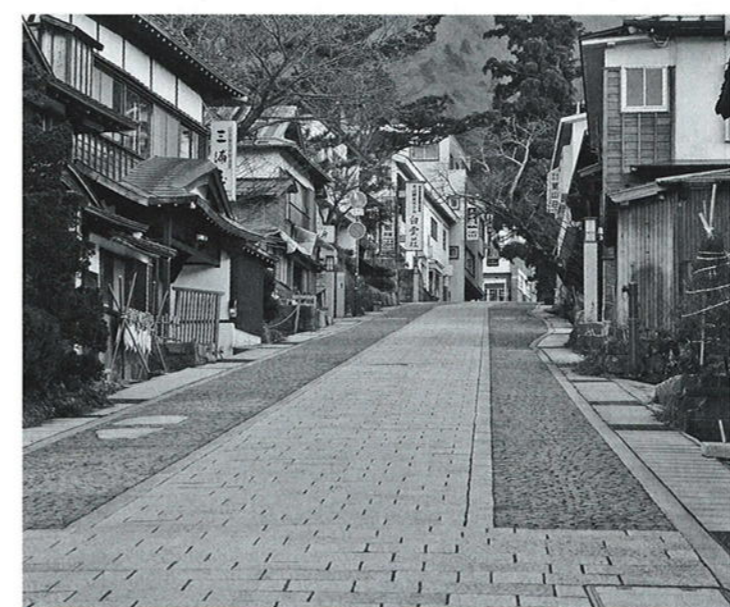
【町長】民間の温泉を生かしてリピーターと滞在時間を増やすことにより、波及効果を期待している。

【杉谷】町長が中心となり大山サミットを開催し、衰退している大山をキラリと光る霊山として守り育て全国へ発信したらどうか。

【町長】大山環境宣言の取り組みを、大山町・伯耆町・江府町で進めている。

【杉谷】大山寺創建1300年の取り組みは。

【町長】僧坊跡の国史跡指定を進め、阿弥陀堂などを中心とした活性化や各種取り組みを検討している。また、歴史文化懇話会を立ち上げ、歴史的な裏づけも進めている。



町内有数の観光地 大山寺の参道

# 保育所の完全給食は？

教育委員会

## 実施は困難

【岩井】なぜ完全給食にできないか。

【教育委員会】児童福祉法で、3歳以上児は副食給食とすると定められている。子育ての責任は親にある。すこやかな成長のためには、地域社会が全体で支えていくことが重要だ。

3歳以上児への完全給食実施は、困難と考えている。

【岩井】紫外線から子どもたちの肌を守る工夫は。特にプールでの対応は。

【教育委員会】町内の保育所では屋外での活動も積極的に取り組んでいる。

7月上旬から9月上旬までの天気の良い日に



中山みどりの森保育園のプール遊び

は、10時ごろから各クラスとも30分程度プール遊びをしている。子どもたちを陰で休ませる工夫をしている。

# 各施策の検証は？

**町長** 担当課・管理職会で



【吉原】平成23年度の決算資料で各課とも主要施策の成果がまとめられている。  
各事業の必要性・効率性・成果など内部評価や検証はされているか。  
【町長】担当課・職員で評価や検証を行っている。  
【吉原】その目的や効果が職員に共有されているのか。  
【町長】事業は、予算



編成・査定で検討している。  
【吉原】管理職会での事業の再検討などは。  
【町長】業務の効率化、組織のあり方などの協議を行っている。  
【吉原】政策戦略会議を設け、管理職が共通認識を持つことが必要ではないか。  
【町長】連携するチームをつくり、実施案件を検討する。

# いじめと自殺の対応は？

**教育委員会** 啓発をすすめる



【西尾】子どものいじめに関し、第三者調査機関を設置する県教委との連携は。  
【教育委員会】過去3年間の報告件数は、平成21年度が4件、平成22年度が4件、平成23年度が1件。早期発見に努めている。  
重大な案件が発生した場合には、県の教育委員会や知事部局とも連携をする。  
【西尾】いじめの認知数が年4件。少ないのは本当になかったか。それとも見つける努力が足りないのか。  
【教育委員会】認知数



が多いことは恥ではないと思つている。見逃すことの方が教員・学校・教育委員会として恥だと思つている。  
【西尾】全国の自殺者は3万人を超えて、一向に減らない。自殺防止の取り組みと成果は。  
【町長】町内では、平成16年〜22年までの7年間で、男性33人、女性8人の計41人が自殺により亡くなつている。60歳以上が50%を超え、40代・50代が40%である。こころの健康カルタを使い集落などで、啓発や周知をはかる。

【吉原】国の史跡指定をめざす、大山僧坊跡と所子伝統的建造物群保存地区の事業の状況は。  
【教育委員会】両事業とも地元の同意を得て、国への申請が可能となるので、その作業に入っている。  
調査により、学術的に価値が高いものであるという位置づけができた。  
【吉原】本町には歴史的に価値のある神社やお寺が多くある。ツーリズムに生かすための観光商工課との連携は。  
【教育委員会】地域資源の活用を共同発信していく。  
【吉原】貴重な歴史遺



大山寺の阿弥陀堂

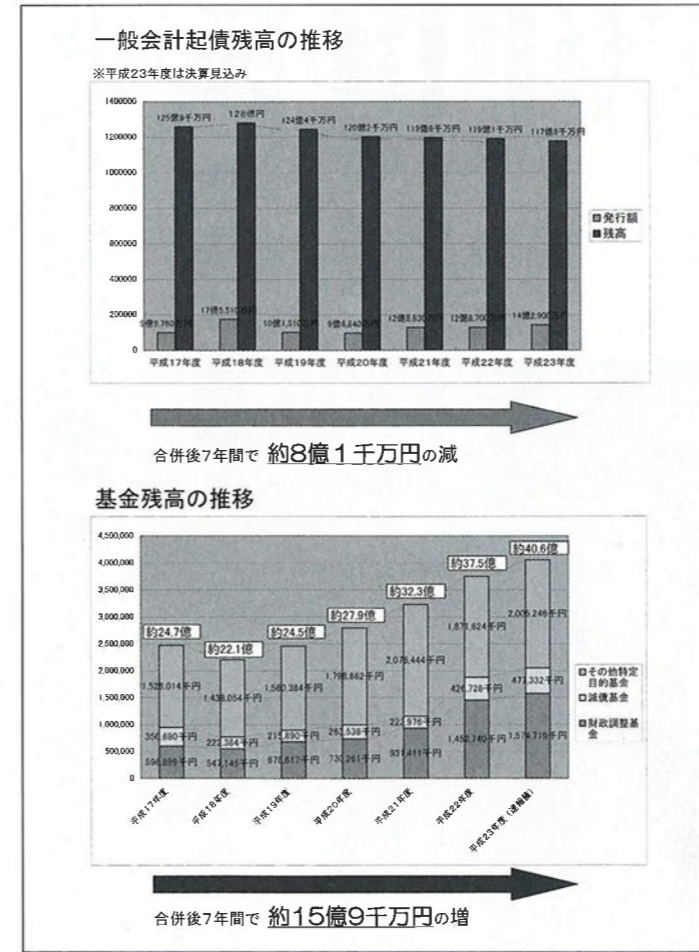
# 文化財の活用は？

## 観光商工課と共同発信

産を生かすためにもボランティアガイドの養成や、説明資料の充実など、積極的に関わって行くべきではないか。  
【教育委員会】ボランティアガイドの養成と強化をめざしていく。

# 財政状況は？

**町長** 選択と集中が必要



行財政改革審議会の資料

【西尾】心配されていた財政基盤も落ちつきを見せている。基金と公債のかね合いは。  
【町長】平成27年度から普通交付税が年々減っていく。公債に対する交付税措置を考へていると、将来負担比率や実質公債費比率が後年に悪化する。バランスを見ながら、持続可能な財政運営をする。  
【西尾】合併後7年間で基金が増えて、起債が減った。  
町民のためになることであれば、起債をしても、事業をするべきだと思つた。  
【町長】選択と集中の行政運営や、効果のある施策を進めている。